

第1回 千曲市総合計画審議会 議事録（要約）

日時 平成28年7月15日（金） 午後2時30分
会場 千曲市更埴文化会館小ホール

1. 開会

2. 委嘱状の交付

3. 市長挨拶

4. 自己紹介

5. 審議会の運営について

（1）千曲市総合計画審議会条例について

（事務局より説明）

（2）会議の公開及び傍聴について（審議会等の設置等に関する基本指針）

（事務局より説明）

6. 正副会長の選出について

互選により 会長：藤居委員 副会長：鹿田委員 を選出

7. 会議事項

（審議会条例第6条の規定により、会長が進行）

（1）第一次千曲市総合計画について

（事務局より説明）

（2）第一次千曲市総合計画の達成状況について

（事務局より説明）

（3）第二次千曲市総合計画策定方針について

（事務局より説明）

【質疑応答】

委員：策定方針の2ページ、上段で、このまま放っておくと44,000人とあるが、目標を50,000人にした理由を説明いただきたい。

企画政策部長：地方創生総合戦略というのは、国が計画したもので、国の人口が一億を維持することを目標にしている。その中で想定された出生率を基に、市では2040

年に 50,000 人という数字を出した。決して千曲市だけが突出しているわけではない。

国と一緒に地方も人口が減ってはいくわけだが、可能な限り押しとどめていこうというものだ。国では、移民政策というものをとっていないので、人口を押しとどめるには、出生率にかかってくるが、当市の総合戦略においては、国の想定出生率に移住人口を加えるという形で、都市圏からここに来ていただくことを想定している。なんとか 50,000 人を切らないようにしたいという願いを込めたものだ。

委員：会議の 1 週間ぐらい前に、会議書類がデジタルファイルで送られてくれば、前もって内容を検討して会議に出席でき、非常に深い交流となると思う。

もう 1 つは、細かい政策、国際交流についての情報は、どこを見れば良いか確認したい。国際交流の意味についても、これは地域における国際交流を推進する内容と理解すればよいのか。ちょっと確認させていただきたい。

総合政策課長：資料の事前配布は、そのように心がけたいと思う。

国際交流の分野は、先ほど概要版を見ていただいたが、詳しくは、厚い方の本編をご覧ください。例えば 83 ページの下方にまちづくりの達成状況をはかる目安ということで、外国籍市民との交流や国際理解について市民満足度調査をさせていただいたものがあるし、基本政策 1、基本政策 2 ということで、外国の伝統や文化習慣を理解する、あるいは外国籍市民と共に暮らす地域社会にするということがある。

一つの例とすれば、千曲万博、国際交流の場として開催しているということだが、新たな国際交流の場を作っていくかなどは、これからご審議をいただくということで、ご理解をお願いしたい。

委員：先ほど A 3 の 3 枚、総合計画における主要事業の実施状況は、こちらの概要版の内容と照らし合わせると、分かるということではないか。

もう 1 つは、来年の 2 月までに答申を出すということだが、このあと、専門部会だけで進んでしまうのか。全体の意見交換も必要と思うが、その辺の運び方のスケジュールを含めて、お聞きしたい。

総合政策課長：概要の 7 ページ以降に、具体的な基本目標ごとに施策があるが、本日は主だったものの実施状況を説明させていただいた。資料に何も書いてないから何もしなかったということではないことは、ご理解いただけたらと思う。

政策推進係長：専門部会だが、資料 9 ページをご覧ください。全体会から専門部会という形で、皆様の意見をお出しいただくことになる。専門部会の部会構成については現在検討中で、庁内体制についても委員会、部会、またワーキングチームという形で進めていこうと考えているが、こちらの構成も検討中である。時期的な目安としては、3 回目ぐらいの審議会でお示しできるのではない

いかと思っている。

委員：策定方針の中に、新幹線新駅の設置というのが出てくるが、この辺の目途について、参考までに聞かせていただきたい。

企画政策部長：総合戦略の中で、北陸新幹線の新駅の設置を基軸としたまち・ひと・しごと創生という基本的な考え方を出している。国の方は、ここへきて、リニアや新幹線への投資をもっとやっていくということなので、見極めながらやっていきたいと思っている。

会長：JRとの進捗状況などについてお話できることがあれば、聞かせていただきたい。

企画政策部長：現在の新幹線の誘致運動は、県議会本会議で、阿部知事から千曲市とともに新駅設置について協力して推進していくという力強い表明があり、18市のすべての首長さんに同盟会の顧問に就任していただいている。議会も18市の議会に同意をいただいているので、議会・首長さんと共に長野県の駅ということで進めている。知事も一緒になってやっていくということだ。国、JRに行く場合については、阿部知事の（同盟会の顧問）就任後なると考えている。

委員：今年の3月ぐらいに第一次総合計画の成果、報告書が作られていると思うが、ぜひ資料として配付していただきたい。

総合政策課長：恐れ入るが、その報告書がどういうものか、後ほど見せていただきたい。確認の上、対応させていただきたい。

会長：今日はこの辺で終了させていただく。

今日説明いただいた内容が膨大なもので、また後ほどそれぞれご覧いただいて問題点等あれば、まとめておいていただければと思う。

日本全国で人口が減っていくのは確定しているわけで、その中で、各自治体が人口を増やそうと。そのためには仕事が必要だ、人口と仕事が増えればまちは活性化すると、こういう話で地方創生という考え方が2年前に出されたという状況で、その考えをまとめたのが、地方版の総合戦略及び人口ビジョンになっているということだ。

人口も、日本全体が減るので、増えるところというのは本当に限られた大都会のような一部で、それ以外の地方というのは大変厳しい状況になる。増えるところが勝ち組だとしたら、ほとんどの地方は負け組になるということで、そのような厳しい状況であることは認識しているが、その中でこの千曲市が、厳しい状況の中であっても、目標を設定して持続可能なまちづくりに進んでいけるような全体の将来像を、皆様の知恵を拝借して、作っていただければと思っている。

ご協力を感謝申し上げます。

8. その他

(事務局より事務連絡)

9. 閉会